

# 記載例

<取り扱い注意>

中学校から高等学校へ

安心して高校生活をスタートさせるために

のびのび・いきいき高校生

個別の移行支援シート



氏 名

福知山市

## 福知山市「個別の移行支援シート」①（中学校用）高等学校へ

くん・さん 在籍中学校名（ ）中学校  
 記入者（中学校）役職 担任 氏名 （平成 年 月 日 作成）

## ＜中学校で特に配慮や支援を必要とした内容＞

- ・学習に取り組みにくい時があります。分からない時、立ち止まってしまい、どうすればよいか人に聞くことができない時があります。
- ・周りの状況が把握しきれず、大きな声を出すなど、自分の感覚で行動をしてしまう時があります。他人の視線が気になり、教室にいることが困難になる時があります。

## ＜学習面について＞

（行ってきた支援・手立て・改善されたこと・今後の課題など）

- ・学習に取り組めた時は、そのまま放置せず、がんばった時には褒めるなど、評価をし続けてきた。
- ・通級指導教室を活用し、理解が困難な数学の個別指導を行っていた。
- ・褒めるなど評価をし続けることにより、落ち着いて学習に取り組めるようになった。課題としては、学習に取り組ませるためには、声かけが必要な時が多い。
- ・興味を示せば、学習に取り組めるようになった。しかし、すぐに注意がそれてしまい学習に集中できない面がある。

（得意な面・指導に活用できること）

- ・理科の元素記号や社会の歴史、特に戦国時代の話などに興味を持っている。
- ・アニメなどの絵をかくことが得意である。

## ＜行動面・コミュニケーション・社会性について＞

（休憩時間・部活動・放課後等の様子）

- ・休憩時間などは、一人でいることが多い。部活動は、理科部に所属し、熱心に活動できている。理科部の中では、他の生徒と共に、楽しくコミュニケーションが取れている。
- ・特定の生徒と共にいるが、その生徒が欠席した時は、一人でいる。休憩時間は、通常の学級の中にいることが困難で、保健室によく行っている。部活動は、パソコン部に所属し、毎日熱心に活動に参加している。

（行ってきた支援・手立て・改善されたこと・今後の課題など）

- ・通級指導教室を活用し、ソーシャルスキルトレーニングや教育相談など個別の支援を行っていた。
- ・ストレスがかかった時の対応方法を学習させていった。そのことにより、大きな声を出すなど不適切な行動が減ってきた。様々なストレスがかかった時に、自分の力で臨機応変に対応することが困難な面がある。

（得意な面・指導に活用できること）

- ・楽しいレクリエーションなどには、参加することができる。
- ・ゲームやアニメについては、詳しく、様々な話ができる。

## ＜その他＞

- ・学校で気になることがあった時には、保護者（主に母親）と連携を取ることで、改善がみられます。
- ・不適切な行動があったときは、叱るよりも、本人を別室へ連れて行き、まず、本人の思いを聞くことが大切です。本人なりの意図がありますので、その意図を理解する必要があります。

## 福知山市「個別の移行支援シート」①（中学校用）高等学校へ

くん・さん 在籍中学校名（ ）中学校  
 記入者（中学校）役職 担任 氏名 （平成 年 月 日 作成）

## ＜中学校で特に配慮や支援を必要とした内容＞

- ・落ち着いて学習に取り組むことが難しい時がありました。
- ・雷など、突然の大きな音に敏感で、恐怖を感じてしまいます。
- ・他人の視線が気になり、教室にいることが難しくなる時があります。
- ・相手の思いが理解できず、些細な刺激でも、パニックになってしまうことがあります。

## ＜学習面について＞

（行ってきた支援・手立て・改善されたこと・今後の課題など）

- ・学習に取り組めた時は、そのまま放置せず、がんばった時には褒めるなど、評価をし続けてきました。そのことにより、落ち着いて学習に取り組めるようになりました。課題としては、学習に取り組ませるためには、声かけが必要な時が多いことです。
- ・興味を示せば、学習に取り組めるようになりました。しかし、すぐに注意がそれてしまい学習に集中できない面がありました。
- ・通級指導教室に通級し、個別指導を行っていました。個別に支援を行うと、集中できる様子でした。

（得意な面・指導に活用できること）

- ・理科の元素記号や社会の歴史、特に戦国時代の話などに興味を持っています。
- ・アニメなどの絵をかくことが得意です。

## ＜行動面・コミュニケーション・社会性について＞

（休憩時間・部活動・放課後等の様子）

- ・休憩時間などは、一人でいることが多いです。部活動は、理科部に所属し、熱心に活動できていました。理科部の中では、他の生徒と楽しくコミュニケーションが取れていました。
- ・特定の生徒と共にいますが、その生徒が欠席した時は、一人でいることが多かったです。休憩時間は、通常の学級の中にいることが困難で、保健室によく行っていました。部活動は、パソコン部に所属し、毎日熱心に活動に参加できていました。

（行ってきた支援・手立て・改善されたこと・今後の課題など）

- ・通級指導教室を活用し、ソーシャルスキルトレーニングや教育相談など個別の支援を行いました。
- ・ストレスがかかった時の対応方法を学習させていきました。そのことにより、大きな声を出すなど不適切な行動が減ってきました。様々なストレスがかかった時に、自分の力で臨機応変に対応することが困難な面がまだあります。

（得意な面・指導に活用できること）

- ・楽しいレクリエーションなどには、参加することができました。
- ・ゲームやアニメについては、詳しく、様々な話ができます。

## ＜その他＞

- ・学校で気になることがあった時には、保護者（主に母親）と連携を取ることで、改善がみられます。
- ・不適切な行動があったときは、叱るよりも、本人を別室へ連れて行き、まず、本人の思いを聞くことが大切です。本人なりの意図がありますので、その意図を理解する必要があります。

## 追加資料貼り付け欄

福知山市「個別の移行支援シート」②(関係機関用)高等学校へ

氏名                      くん・さん (      年      月      日      作成)

&lt;関係機関名&gt;

通級指導教室

(記入者)

&lt;関係機関より&gt;

関係機関での様子、学校での配慮事項、生育歴など、高等学校へ伝えたいことがあれば自由にお書きください。

**(通級指導教室内での様子)**

- ・通級指導教室でのグループ活動には、積極的に参加することができている。この中では、トラブルはありませんでした。
- ・通級指導教室でのグループ活動には参加できています。自ら進んで、会話をするのは困難な様子です。でも、少しずつ、何人かの生徒とコミュニケーションを取ることができるようになってきました。

**(学校での配慮事項)**

- ・分からなくなると、動きが止まったり、泣いてしまうことがあるので、そっと声をかけていく必要があります。
- ・ストレスがある中で無理をさせると、学校を続けて休んでしまうことがあります。調子が少し悪くなった時点で、ストレスを取り除けるよう教育相談を重点的に行う必要があります。

**(生育歴)**

- ・保育園の時に、〇〇医療機関でアスペルガー症候群の診断を受けています。
- ・小学校5年生までは、特に課題は見られなかった。小学5年生の2学期から、学校に行くにくくなった。
- ・小学校5年生2学期から小学校6年生2学期まで保健室登校をしていた。6年生3学期は、一日、1時間程度、教室に入ることもできるようになった。中学校1年生時は、ずっと別室登校をしていた。中学2年生は、1日2～3時間程度、教室へ入ることができるようになってきた。中学3年生では、別室に頼ることなく、通常の学級の教室で生活できるようになってきた。

**(高校へ伝えたいこと)**

- ・保護者が協力的ですので、何か気になることがあれば、すぐに保護者と連携を取られたらと思います。
- ・本人なりの解釈がありますので、叱るのではなく、本人の解釈をまず聞くことが大切だと思います。その後で、正しい対応の仕方をきちんと教えていく必要があると思います。

福知山市「個別の移行支援シート」③（保護者用）高等学校へ

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日（ \_\_\_\_\_ ） 在籍中学校名（ \_\_\_\_\_ ） 中学校  
 記入者（保護者） 本人との続柄（ \_\_\_\_\_ ） 連絡先電話番号（ \_\_\_\_\_ ）  
 （ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 作成）

<家庭で必要な支援と手立て>

（様子、特徴、予想されること、気になること、得意な面、支援、手立て、など）

本人の性格

こだわりが強く、中々、こちらの言うことを聞けないことがあります。様々なことに興味を持って取り組みます。嫌なことに対して、頑張ることが難しいです。叱られると、素直に受け取れず、すねてしまうことがよくあります。 支援・本人なりの思いを持っていますので、本人の思いを理解してから、適切な方法を教えていただけると理解しやすいと思います。

対人関係面（友人関係等）

同年代の気の合う友達がいません。同級生以外の人であれば、比較的積極的に話しかけることができます。異性の友達とも、話をするすることができます。

健康面

★睡眠について（眠れない・朝起こされても起きない等）

早く寝ることができず、朝、起きることが難しい生活リズムになっています。目覚めがよくなり、朝は、だらだらしてしまいがちです。

関係機関とのつながり

- ・発達・心理検査 （受けた） 受けていない
- ・医療 （受診している<定期受診・不定期に受診>） （受診していない）
- ・服薬 （している） （していない）

卒業後の進路についての希望（進学か就職か、一般就労か、福祉就労か）

本人は、高校卒業後は自分で好きにできる店を持ちたいと考えている。  
 しかし、親としては、大学へ進学させて、安定した職業に就けることを願っている。

これまでの生活から高等学校へ伝えておきたいことなど

自分の思い通りにならないと行動できない面があり、嫌なことは避けようとする傾向があります。しかし、褒めて、励ましていただけると頑張れる面もあります。

ストレスが溜まるとパニックを起こしてしまうことがあります。様子がおかしいときは、じっくり話を聞いてもらえるとパニックを起こさず、落ち着けると思います。

福知山市「個別の移行支援シート」④（生徒用）高等学校へ

くん・さん

<高等学校に向けて>

高等学校でがんばりたいこと、不安なこと、得意なこと、好きなこと、願いなどがあれば、自由に書いてください。

(がんばりたいこと)

楽しいことを見つけたい。  
部活動ががんばりたい。  
勉強についていけるようにしたい。

(不安なこと・困ること) 授業・友達関係・部活動・日常生活・出席・放課後・その他

学校の授業についていけるか心配です。  
いじめられないか不安  
一緒に行動してくれる人ができるか不安  
厳しい先輩がいないか不安  
休憩時間に何をして過ごせばいいのか不安です。  
体調不良によくなるのですが、どれぐらい休むと進級できないのですか？

(得意なこと・好きなこと)

理科が得意。  
好きなことは、ゲーム。  
アニメが好き。

希望（やりたいこと、将来の夢・進路など）

毎日、楽しく学校に行ければいい。  
漫画家になりたい。  
パソコンを使って、アニメーションをつくりたい。  
ゲームをつくりたい。  
お金持ちになりたい。